

一般質問から

新保育所について

Q ①今議会に県の補助金約1億9650万円を活用し100名と80名定員の二ヶ所の保育所建設計画が上程されている。今後のスケジュールは②予定されている年齢構成は③年間委託料は④保育料収入は⑤これにより年間約800万円の滞納対策は⑥民設民営でありながらすべてを市がやらなければならない。職員の増員はできない徴収業務だけでも委託できないか⑦債権が確定したら別の部署で行うべきでは。

A ①12月中旬に申込み時期ホームページや広報誌で行い

5番 大久保 龍雄

選考委員会を経て25年4月1日開所したい②0歳17名・1歳31名・2歳31名その他101名③推計で1億6480万円④収納率約97%で約6246万円⑤法的な対応を含め一層の努力は行う⑥児童福祉法第56条第4項に私人に委託出来るとある現に船橋市では行っている。研究したい⑦市の特徴なのか徴収担当が他市の倍以上いる。検証したい。



水道行政について

Q 有事の際、早期生活の安定を目指した『受水』について伺う。

本市の給水車の現状は、アルミ製給水タンク(1立方メートル容量タンク11基、2立方メートル容量タンク2基、計13基保有)をトラックに積載し、給水拠点等に運ぶものである。

加圧式給水車を保有していない為、病院や大量に水を使用する避難施設等の貯水槽への給水を行うことができない。現在、給水人口約84000人、八潮市に加圧式給水車は必要ないのだろうか？

1番 福野 未知留

加圧式給水車は、断水や濁水等の突発的な事態への応急給水をはじめ、水質事故を含む災害時において建物屋上に置かれた高架水槽への給水も可能であり、近隣市においては、本市だけが配置していない。

昨年の東日本大震災に続き、本年5月18日にホルムアルデヒド流出事故も発生し、今まで以上に必要性を感じ、本年度に優先度の高い加圧式給水車を購入してまいりたいと考えている。

北部開発について

Q 今後の北部地区まちづくりについて

現在、ネクスコ東日本では、平成27年度までに東京外環自動車道の千葉区間全線開通を目標に整備を進めており、それに併せて八潮パーキングエリアを整備していきたいと伺っております。市としては、スマートインターチェンジを併せて整備することを目標としております。このパーキングエリアは拠点形成のための先導的役割を期待するものであり、そのために市として全面的に協力してまいりたいと考えております。先

7番 宇田川 幸夫

今後の意向調査結果では、「どちらでもない」と回答している人や「未回答」の人も多数いることから、整備手法を判断する上で、土地所有者の十分な理解が得られていなかった可能性が考えられます。このようなことから、市といたしましても土地所有者や地域の方々を対象に、土地画整理事業や都市計画法第34条第12号の手法について、ご理解いただけるよう勉強会を開催するなど全面的に支援してまいりたいと考えております。

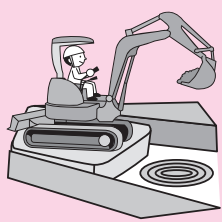
水路整備について

Q 水路5-9(幸之宮)について、数年前工事をしましたが、その後、工事が中断となつていますが、その先の工事は、いつになるのか。

5-9号水路は、平成13年度及び14年度の2ヶ年にわたり当該水路上流地区の道路冠水の軽減を図ることを目的として広幅員の水路敷地を有効活用し、幅3・1メートル、深さ1・7メートル断面のU型水路構造物で下流部分から延長約74・0メートルを新設し、貯留機能を期待できる水路として整備しました。質問の、未整備の

17番 豊田 吉雄

約77・2メートルについては、水路敷地内に民地の構造物や不法占有物が存在しているため、地権者に対し、鋭意是正改善を要請しております。引き続き、雨水等の流下能力に支障のない水路断面等を検討し、財政状況等も踏まえたうえで、効果的な整備に努めてまいります。



旧潮止揚水機場について

Q 旧潮止揚水機場の今後の取り扱いについて。

旧潮止揚水機場は、木造の建屋で、ポンプ室・管理入室・変電室の3部屋で構成され、建屋内に設置されている「昭和4年製ポンプ及び昭和26年製モーター」2台は、平成18年に八潮市登録有形文化財として登録されております。付随する樋門、揚水機、建屋も含めて残っているのは、関東でも珍しいとの専門家の意見もあり、今年度から、庁内に「旧潮止揚水機場に関する庁内検討委員会」を設置し、検討を始めたところでございます。

22番 柳澤 功一

検討内容につきましては、本施設の果たした役割の検証や今後の在り方、また、活用方法などのいくつかのケースを想定し、それぞれの課題についてメリットやデメリットなどを検討してまいりたいと考えております。当該施設は平成14年からは稼動していませんが、老朽化が著しく、安全上の点からできるだけ早期に、基本的な考え方をまとめまいりたいと考えております。

地下鉄8号線の進捗状況について

Q 地下鉄8号線は、平成12年1月の運輸政策審議会答申第18号において、平成27年度までに亀有から八潮市、そして越谷レイクタウン、さらに野田市間について、整備に着手することが適当である路線として位置づけられています。現在の状況についてお聞かせください。

6番 大山 安司

域の解消が図られることが確認されました。平成27年度に予定されております交通政策審議会の答申に向けた活動を展開していくことが重要でありますことから、これまで以上に地下鉄8号線建設促進並びに誘致既成同盟会を通して、国土交通省及び埼玉県をはじめ、関係各県の知事に対して適切な指導と支援について要望してまいります。

国土交通省では、平成19年度及び20年度におきまして、都市鉄道整備基礎調査を実施しました。この調査において、八潮-野田市間の連絡鉄道整備に係る技術的な検討が行われ、速達性の向上や鉄道不便地